

# 一般財団法人市川市福祉公社

## 令和6年度 第1回 介護・医療連携推進会議 議事録

- 日 時： 令和6年8月9日（金） 11時00分～12時00分
- 場 所： 大洲防災公園 ふれあいセンター2階 第1～2会議室
- 出席者： 22名

### 〔委 員〕

議長 村尾 薫 委員  
委員 四ツ屋 真由美 委員  
松野 大樹 委員  
工藤 茂 委員

以上 委員 4名

### 〔オブザーバー〕

|                   |          |
|-------------------|----------|
| 市川市福祉部介護保険課       | 秋元 健 様   |
| 市川市福祉部介護保険課       | 大隅 夏美 様  |
| 高齢者サポートセンター市川第一   | 小川 かおり 様 |
| 高齢者サポートセンター市川第二   | 東條 聖史 様  |
| 高齢者サポートセンター市川東部   | 久村 宏美 様  |
| 高齢者サポートセンター真間     | 丹野 直子 様  |
| 高齢者サポートセンター菅野・須和田 | 濱 奈美 様   |
| 高齢者サポートセンター菅野・須和田 | 荒井 沙耶 様  |
| 高齢者サポートセンター国府台    | 古川 直樹 様  |
| 高齢者サポートセンター八幡     | 今井 智基 様  |
| 高齢者サポートセンター信篤・二俣  | 前田 朋華 様  |
| 高齢者サポートセンター大柏     | 長谷川 泰敏 様 |
| SOMPO ケア市川八幡      | 渡辺 雄二郎 様 |
| SOMPO ケア市川八幡      | 田村 智紀 様  |
| くらしさ南行徳           | 小山 耕二 様  |
| 市川市福祉公社           | 外窪 瑞之 様  |

以上 オブザーバー 16名

### 〔事務局〕

事業二課 課長 水野 庸子  
当該事業・計画作成責任者 萬徳 雄一

以上 事務局 2名

## ■ 次 第

- (1) 事務局より資料の説明を行う
  - ・令和 6 年度 第 1 回 介護・医療連携推進会議資料
  - ・利用者一覧
- (2) 事業二課課長 水野より挨拶
- (3) 委員、オブザーバーのご紹介
- (4) 事務局紹介
- (5) 議長・副議長の選出

### ●サービス提供等状況報告・相談受付状況について

(事務局)

- ・資料に沿い令和 6 年 1 月～6 月のサービス提供等状況、相談状況を報告した。

### ○質疑応答

- ・相談のみで導入に至らなかった理由はなにか？

(事務局) 咳痰吸引や褥瘡処置など、医療的な支援が主だったため、当社でのサービス導入が困難であった。

また、相談を受けていたが、退院が長引いてしまった結果、在宅復帰できず導入にならなかったものもあった。

### ●事例報告

(事務局)

- ・資料に沿い利用者の事例報告を行った。

### ○質疑応答

- ・随時訪問はどのような時に呼ばれることが多いのか？

(事務局) 自身での移乗動作に失敗したときに呼ばれた。5 月～7 月の期間で 3、4 回ほど対応した。

- ・当該利用者は要介護 5 であるが、骨折前の状況を知りたい。またご家族は生活面での不安はないか、またリハビリや訪問看護は入っていないのかを知りたい。

(事務局) 入院中の認定調査により要介護 5 となったと聞いている。肺気腫の既往があり在宅酸素を利用させていた。ご家族も時々は訪問されている。適宜支援内容の見直しを行っている。必要に応じ自費サービスが導入されている。訪問看護と訪問入浴は週に一回訪問している。

## ●オブザーバーからの意見・質疑とその回答

- ・5月には随時訪問が多かった。どんな対応をされたのか？

(事務局)転倒や排泄トラブルでの対応がほとんどであった。

- ・何度も排泄が出ないと呼び続ける利用者はいるのか？

(事務局)以前は排泄の不安から頻回な通報をあげる利用者はいたが、現在はいない。

- ・離職や配置転換における大変な部分はあるか？

(事務局)福利厚生の充実により、定着率は以前より向上した。

- ・随時訪問において呼ばれる時間帯はどこか？

(事務局)18:00～8:00での対応が100%だった。

- ・要介護4⇒要支援1となるケースのように、更新時に要支援となった場合の対応はどうのようにされているか？

(事務局)利用者・事業所と相談している。1日複数回だった訪問が1週間に1回となったら利用者にとってとても不安なことである。事業の特性を改めて説明したうえで利用者・事業者と決定していく。

- ・利用者やその家族がコロナ感染中における訪問はどのように対応しているか？

(事務局)防護服着用の上、感染防止対策を徹底して訪問している。

- ・今回の事例を取り上げた理由を知りたい。

(事務局)利用者の状況変化は多くあるが、事業の特性上お伝えしやすかった内容だった。

- ・福祉公社北部ステーション方面での活動エリアはどこまで対応されているか？

(事務局)大町エリアも対応している。必要に応じて相談している。

- ・5月⇒6月で随時訪問が30回近く減った理由は？また多くの職員が訪問するにあたり利用者から不安の声が聞かれたが、どのように克服されたのか？

(事務局)訪問時での利用者の動作は常に気にかけていた。また、利用者との関りの中で少しずつ訪問職員と利用者との信頼関係ができた。

- ・訪問時に利用者不在だったときはどう対応しているか？

(事務局)利用者不在だった事例はない。ただし実際に不在だった場合はサービス提供できない。

- ・長期的に利用されている利用者はどれくらい年数利用されているか？

(事務局)入院等もあり、長期的に利用されている利用者は少ない。

## ■閉会

閉会にあたり事務局水野より挨拶

- ・次回介護医療連携推進会議予定 令和7年2月中旬を予定としている。

以上

文責：市川市福祉公社  
事業二課 巡回ヘルパーステーション 萬徳 雄一